

公立大学法人 大分県立芸術文化短期大学
平成25事業年度の業務実績に関する
全体評価結果

平成26年8月

大分県地方独立行政法人評価委員会

1 全体評価

評価結果と判断理由

評価結果

全体として年度計画を順調に実施している。

判断理由

- ①大項目のうち「Ⅰ大学の教育研究等の質の向上に関する目標」の項目についてはS評価（特筆すべき進行状況にある）、「Ⅱ業務運営の改善及び効率化に関する目標」、「Ⅲ財務内容の改善に関する目標」、「Ⅳ自己点検・評価及び情報の提供に関する目標」、「Ⅴその他業務運営に関する目標」のいずれの項目もA評価（計画どおり進んでいる）であること。
- ②「Ⅰ大学の教育研究等の質の向上に関する目標」の項目については、生涯学習への取組として専門的な公開講座を継続して実施したほか、公開授業を始めたこと。また、各学科がそれぞれの特徴を活かしながら、地域との協働やまちづくりへの参画、アウトリーチ等、地域に根付いた活動を重ね、地域の期待に答えていること。

<委員会からのコメント>

- 地域の期待に応えるという積極的な姿勢が見られるとともに実際に成果が出ていることをみると、地域への取組に対して非常に努力していることが見受けられる。

【参考：大項目評価の結果】

I 教育研究等の 質の向上	S 特筆すべき 進行状況	A 計画どおり	B おおむね 計画どおり	C やや遅れて いる	D 重大な改善 事項あり
II 業務運営の改 善及び効率化	S 特筆すべき 進行状況	A 計画どおり	B おおむね 計画どおり	C やや遅れて いる	D 重大な改善 事項あり
III 財務内容の改 善	S 特筆すべき 進行状況	A 計画どおり	B おおむね 計画どおり	C やや遅れて いる	D 重大な改善 事項あり
IV 自己点検・評 価及び情報提供	S 特筆すべき 進行状況	A 計画どおり	B おおむね 計画どおり	C やや遅れて いる	D 重大な改善 事項あり
V その他業務運 営	S 特筆すべき 進行状況	A 計画どおり	B おおむね 計画どおり	C やや遅れて いる	D 重大な改善 事項あり

公立大学法人 大分県立芸術文化短期大学
平成25事業年度の業務実績に関する
項目別評価結果

(大項目評価)

平成26年8月

大分県地方独立行政法人評価委員会

2 大項目評価

I 大学の教育研究等の質の向上に関する目標

(1) 評価結果

評価結果	S 特筆すべき 進行状況	A 計画どおり	B おおむね 計画どおり	C やや遅れて いる	D 重大な改善 事項あり
------	---------------------------	------------	--------------------	------------------	--------------------

(2) 判断理由

- ①小項目評価の集計結果では、31項目のすべてがⅢ（順調に実施している）又はⅣ（上回って実施している）であること。
- ②平成25年度に新設した国際総合学科について、担任による履修指導の徹底等、カリキュラム及びコース制を着実に進めたほか、情報コミュニケーション学科へのコース制の導入に向けて準備を始めたこと。また、入試広報の見直しをした結果、平成26年度入試において志願者が増加したこと。
- ③生涯学習への取組として、専門的な公開講座を継続して実施したほか、公開授業を始めるとともに、地域ふれあいアート講座や地域巡回演奏会、日田市でのクラシックコンサート等、日常において芸術文化に触れる機会の少ない地域での活動に努めたこと。また、各学科がそれぞれの特徴を活かしながら、地域との協働やまちづくりへの参画等、地域に根付いた活動を重ね、地域の期待に応えていること。
- ③小項目評価の中にⅡ（十分に実施できていない）又はⅠ（実施していない）の評価の項目は認められないこと。

【参考：大項目評価に当たり勘案した事項】

- 教育の内容及び到達目標
- ・平成25年度に新設した国際総合学科について、新入生オリエンテーションや担任による履修指導の徹底等、国際総合学科のカリキュラム及びコース制の着実に進めた。
 - ・情報コミュニケーション学科のコース制の導入に向けて、教員体制の検討等、準備に着手した。
 - ・学修ポートフォリオを全学で試行、改善し、平成26年度から本格実施とした。
- 教育の実施体制
- ・高校訪問等への教員の派遣を計画的に行うとともに、入試広報の内容を見直した結果、平成26年度入試において志願者が増加した。(H26・788人、H25・735人、53人増)
 - ・学生が県内各地で行われる文化活動やまちづくりに主体的に参加、実践するよう指導した。特にサービ斯拉ーニングでは74地域で実施する等、積極的に取り組んだ。
- 研究の方向
- ・芸術文化に関する特色ある研究を推進し、成果を公演、展示、講座等により地域に還元した。
- 学生への支援
- ・留学生、障がいのある学生等の受け入れ方針を策定し、支援策をリスト化した。
 - ・インターンシップの事前・事後指導の充実のほか、学生の進路希望に沿ったキャリア教育と資格取得支援を拡充し、より幅広い進路への対応を行った。
- 地域社会への貢献
- ・専門的な公開講座を継続的に実施したほか、公開授業を開始するなど、県民の学びのニーズに応えた。

- 地域ふれあいアート講座や地域巡回演奏会、日田市でのクラシックコンサート等、日常において芸術文化に触れる機会の少ない地域での活動に努めた。
- 国際交流の推進
- 韓国の東国大学と新たに語学研修協定を締結し、語学実習先の拡大を図った。

【参考：小項目評価の集計結果】

分類	評価対象項目数	I 実施して いない	II 十分に実 施できて いない	III 順調に実 施してい る	IV 上回って 実施して いる
教育	22(12)			15(5)	7(7)
研究	4(1)			3	1(1)
社会貢献	5(2)			1	4(2)
合計	31(15)			19(5)	12(10)
ウエイト考慮 後の合計	46			24	22

(注) 1 () は、ウエイト付けした項目数である。

2 大項目評価は、ウエイト考慮後のⅢ及びⅣの割合により決定する。

※小項目評価の集計結果では、31項目のすべてがⅢ又はⅣの評価であるため、A評価(計画どおり進んでいる)となる。ウエイト付けした項目を考慮しても同様の結果である。

(3) 評価に当たっての意見、指摘等

- 地域の中で、各科ごとに様々な取組をしている。地域に根ざした活動をしている。
- 学科改編等に伴い、志願者増の実績を積んでいる。
- 地域の期待に応えるという積極的な姿勢が見られ、実際に成果が出ている。

Ⅱ 業務運営の改善及び効率化に関する目標

(1) 評価結果

評価結果	S 特筆すべき 進行状況	A 計画どおり	B おおむね 計画どおり	C やや遅れて いる	D 重大な改善 事項あり
------	--------------------	------------	--------------------	------------------	--------------------

(2) 判断理由

- ①小項目評価の集計結果では、9項目のすべてがⅢ（順調に実施している）又はⅣ（上回って実施している）であること。
 ②小項目評価の中にⅡ（十分に実施できていない）又はⅠ（実施していない）の評価の項目は認められないこと。

【参考：大項目評価に当たり勘案した事項】

- 運営体制
 ・会計事務の効率化を図るため、平成26年度稼働開始に向けて新財務会計システムを導入した。

【参考：小項目評価の集計結果】

分類	評価対象項目数	Ⅰ 実施して いない	Ⅱ 十分に実 施できて いない	Ⅲ 順調に実 施してい る	Ⅳ 上回って 実施して いる
運営体制	5			3	2
人事の適正化	3 (1)			3 (1)	
業務の選択と集中	1 (1)				1 (1)
合 計	9 (2)			6 (1)	3 (1)
ウエイト考慮 後の合計	11			7	4

(注) 1 () は、ウエイト付けした項目数である。

2 大項目評価は、ウエイト考慮後のⅢ及びⅣの割合により決定する。

※小項目評価の集計結果では、9項目のすべてがⅢ又はⅣの評価であるため、A評価（計画どおり進んでいる）となる。ウエイト付けした項目を考慮しても同様の結果である。

(3) 評価に当たっての意見、指摘等

特になし

Ⅲ 財務内容の改善に関する目標

(1) 評価結果

評価結果	S 特筆すべき 進行状況	A 計画どおり	B おおむね 計画どおり	C やや遅れて いる	D 重大な改善 事項あり
------	--------------------	------------	--------------------	------------------	--------------------

(2) 判断理由

- ①小項目評価の集計結果では、10項目のすべてがⅢ（順調に実施している）又はⅣ（上回って実施している）であること。
 ②小項目評価の中にⅡ（十分に実施できていない）又はⅠ（実施していない）の評価の項目は認められないこと。

【参考：大項目評価に当たり勘案した事項】

- 自己収入及び外部資金の獲得
 ・文化庁「次代の文化を創造する新進芸術家育成事業」への提案が採択され、事業を受託した(7,023千円)。また、文化庁「地域発・文化芸術創造発信イニシアチブ 大学を活用した地域芸術文化振興事業」において、県が補助事業者、芸文短大が間接補助事業者として事業を実施し、補助金を獲得した(5,028千円)。

【参考：小項目評価の集計結果】

分類	評価対象項目数	Ⅰ 実施して いない	Ⅱ 十分に実 施できて いない	Ⅲ 順調に実 施してい る	Ⅳ 上回って 実施して いる
事務効率化・ 経費抑制	3			3	
自己収入・外部 研究資金の獲得	4(2)			3(2)	1
資産の適正管 理・有効活用	3			2	1
合 計	10(2)			8(2)	2
ウエイト考慮 後の合計	12			10	2

(注) 1 () は、ウエイト付けした項目数である。

2 大項目評価は、ウエイト考慮後のⅢ及びⅣの割合により決定する。

※小項目評価の集計結果では、10項目のすべてがⅢ又はⅣの評価であるため、A評価（計画どおり進んでいる）となる。ウエイト付けした項目を考慮しても同様の結果である。

(3) 評価に当たっての意見、指摘等

特になし

IV 自己点検・評価及び情報の提供に関する目標

(1) 評価結果

評価結果	S 特筆すべき 進行状況	A 計画どおり	B おおむね 計画どおり	C やや遅れて いる	D 重大な改善 事項あり
------	--------------------	------------	--------------------	------------------	--------------------

(2) 判断理由

- ①小項目評価の集計結果では、4項目のすべてがⅢ（順調に実施している）又はⅣ（上回って実施している）であること。
- ②小項目評価の中にⅡ（十分に実施できていない）又はⅠ（実施していない）の評価の項目は認められないこと。

【参考：大項目評価に当たり勘案した事項】

- 情報公開や情報発信の推進
- ・新たな情報発信媒体としてfacebookを開設した。また、facebookとHPを毎日更新するなど常に大学の情報を発信した結果、HPのアクセス件数は全年度を大幅に上回った。（平成24年度155千件、平成25年度179千件）

【参考：小項目評価の集計結果】

分類	評価対象項目数	Ⅰ 実施して いない	Ⅱ 十分に実 施できて いない	Ⅲ 順調に実 施してい る	Ⅳ 上回って 実施して いる
自己点検・ 自己評価	1			1	
情報公開・ 情報発信	3(1)			2	1(1)
合 計	4(1)			3	1(1)
ウエイト考慮 後の合計	5			3	2

(注) 1 () は、ウエイト付けした項目数である。

2 大項目評価は、ウエイト考慮後のⅢ及びⅣの割合により決定する。

※小項目評価の集計結果では、4項目のすべてがⅢ又はⅣの評価であるため、A評価（計画どおり進んでいる）となる。ウエイト付けした項目を考慮しても同様の結果である。

(3) 評価に当たっての意見、指摘等

特になし

V その他業務運営に関する目標

(1) 評価結果

評価結果	S 特筆すべき 進行状況	A 計画どおり	B おおむね 計画どおり	C やや遅れて いる	D 重大な改善 事項あり
------	--------------------	------------	--------------------	------------------	--------------------

(2) 判断理由

- ①小項目評価の集計結果では、9項目のすべてがⅢ（順調に実施している）又はⅣ（上回って実施している）であること。
 ②小項目評価の中にⅡ（十分に実施できていない）又はⅠ（実施していない）の評価の項目は認められないこと。

【参考：大項目評価に当たり勘案した事項】

- 大学の安全管理
 ・県警と連携して学生40人で「サイバー防犯ボランティア」を発足し、ネットワークの見守りや広報活動を実施するなど、学生のセキュリティ意識を高めた。

【参考：小項目評価の集計結果】

分類	評価対象項目数	Ⅰ 実施して いない	Ⅱ 十分に実 施できて いない	Ⅲ 順調に実 施してい る	Ⅳ 上回って 実施して いる
施設・設備の 整備・活用	1 (1)				1 (1)
安全管理	4			3	1
人権啓発推進	4			4	
合 計	9 (1)			7	2 (1)
ウエイト考慮 後の合計	10			7	3

(注) 1 () は、ウエイト付けした項目数である。

2 大項目評価は、ウエイト考慮後のⅢ及びⅣの割合により決定する。

※小項目評価の集計結果では、9項目のすべてがⅢ又はⅣの評価であるため、A評価（計画どおり進んでいる）となる。ウエイト付けした項目を考慮しても同様の結果である。

(3) 評価に当たっての意見、指摘等

特になし